

小児科領域における対面接点連携型オンライン診療の実証

研究協力者 橋本 直也, MD MPH¹ 田中 俊之, MD MPH²

¹株式会社 Kids Public ²さいたまこどもくりにつく

要旨

小児科領域における対面接点連携型オンライン診療の 2 つの類型が安全に、満足度を保ちながら、実行できることが確認された。

①看護師介在モデル (D to P with N + Device) : 小児軽症患者を対象とし、患者の元にいる看護師がデジタル聴診器等のデバイスで客観的情報を取得。そのデータを基に遠隔地の小児科医が診療を行う。

②多職種連携モデル: 5 歳児健診を対象とし、保護者および日頃から子どもと接する保育士や保健師が収集した子どもの育ちに関する情報をもとに、遠隔地の小児科医がオンラインで健診を行う。

1. 背景

我が国の小児医療体制は、持続可能性の観点から深刻な課題に直面している。厚生労働省の統計によれば、35 歳未満の若手医師が小児科を専攻する割合は減少傾向にあり、将来的な小児科医の確保はますます困難になると予測される¹⁾。実際に、地域の小児医療を支える診療所の数も 2008 年から 2012 年の間に約 16%減少しており²⁾、子どもたちの医療アクセスへの影響が懸念される。こうした状況下で、小児医療における重要な課題は、①軽症患者の適切な受け皿の確保と、②子どもの健全な発達を支える健診体制の維持である。特に、政府が推奨する 5 歳児健診は、発達障害等の早期発見に繋がる重要な機会であるにもかかわらず、その全国実施率は極めて低い。2024 年 8 月時点の調査では、回答自治体のうち実施しているのはわずか 15%に留まっている³⁾。この背景には、健診を担う小児科医の不足が大きな要因として存在する。これらの課題解決のため、ICT を活用したオンライン診療に期待が寄せられている。しかし、患者のスマートフォン等で完結する従来のオンライン診療は、特に小児の軽症急性期疾患において、視診・聴診等の情報が限定的で、診断の質に課題があった。この限界を克服する新たな手法として、本研究では「対面接点連携型オンライン診療」というモデルに着目する。これは、遠隔地の医師と患者との間に、看護師や保育士といった専門職が物理的に介在し、対面での支援を行うことでオンライン診療の質と安全性を高めるものである。具体的には、対象とする医療ニーズに応じて以下の 2 つのモデルを想定する。

① 看護師介在モデル (D to P with N + Device) : 小児軽症患者を対象とし、患者の元にいる看護師がデジタル聴診器等のデバイスで客観的情報を取得。そのデータを基に遠隔地の小児科医が診療を行う。

② 多職種連携モデル: 5 歳児健診を対象とし、保護者および日頃から子どもと接する保育士や保健師が収集した子どもの育ちに関する情報をもとに、遠隔地の小児科医がオンラインで健診を行う。

本研究では、これらのモデルを実際のフィールドに導入し、その有効性と実用性を実証する。

1) 前田由美子, 「医師養成数増加後の医師数の変化について」, 日本医師会総合政策研究機構『日医総研リサーチ・レポート』No. 126, 2022 年 5 月 13 日。

2) 厚生労働省, 「令和 3 (2021) 年 医療施設 (動態) 調査・病院報告の概況」。

3) 5 歳児健診ポータル supported by こども家庭庁, データで見える! 5 歳児健診, <https://gosaiji-kenshin.com/data/> (最終アクセス: 2026 年 5 月 5 日)

2. 目的

本研究の目的は、小児科領域において「対面接点連携型オンライン診療」の実行性を検証し、その社会実装に向けた課題を抽出することである。具体的には、「看護師介在モデル」を埼玉県深谷市における小児軽症患者の診療に、「多職種連携モデル」を群馬県昭和村における5歳児健診にそれぞれ導入する。実証を通じて得られた定量的・定性的データに基づき、本モデルが小児医療アクセスを改善し、医師の負担を軽減する有効な手段となりうるかを、以下の観点から多角的に評価・検討する。

有効性: 医療アクセス改善度、保護者の満足度・安心感、診断・健診の質の担保

安全性: 対面診療への適切な連携体制、インシデントの発生状況

実用性: 導入・運用上の課題、医療従事者の業務負担、持続可能な運用体制

3. 研究方法

- ・本研究は、公益社団法人地域医療振興協会の倫理審査の承認を受けて実施した（受付番号 20251009-01）。
- ・ウェブ上で同意を取得した保護者、実証事業に参加した医療・保健・保育従事者からのデータを利用する。
- ・それぞれのモデルは、下記の通り実施した。

① 看護師介在モデル（D to P with N + Device）

期間：2025/11/2 - 12/21 の日祝（計 10 日間）

時間：18-21 時

場所：深谷市役所

体制：看護師が現地に常駐し、小児科医は遠隔地からオンライン診療を実施。診療は事前予約制とした。

上記の方法でオンライン診療を実施したさいたまこどもくりにつくが、診療録、保護者への満足度アンケート調査から、受診時間、診断内容、保護者満足度等のデータを収集し、匿名加工を行う。匿名加工されたデータを研究代表者が受け取り、本モデルの利便性、課題、改善点等を後方視的に分析する。

② 多職種連携モデル（5歳児健診）

実施日程：2025/11/18、2026/1/20、2026/2/20

場所：昭和村保健センター

体制：事前準備として、保護者、保育士、保健師へ Web アンケートを実施。対象児童の育ちについての多面的な見解の収集・データ統合。担当予定の小児科医は統合されたデータについて事前に確認。健診当日、対面で、保育士、保健師、心理士、PT が対象児童に健診を実施。小児科医は、全三回それぞれ下記の体制で実施した。

第一回（2025/11/18）：小児科医も対面で健診を実施。健診後の多職種連携会議にも対面で参加。

第二回（2026/1/20）：小児科医は健診会場の別室からオンラインで健診を実施。健診後の多職種連携会議には対面で参加。

第三回（2026/2/20）：小児科医は遠隔地からオンラインで健診を実施。健診後の多職種連携会議にもオンラインで参加。

上記の方法で5歳児健診を昭和村から委託された小児科医が、健診記録、保護者への満足度アンケート調査、実証事業に参加した医療・保健・保育従事者へのアンケート調査から、保護者満足度、担当者の満足度等のデータを収集し、匿名加工を行う。匿名加工されたデータを研究代表者が受け取り、本モデルの利便性、課題、改善点等を後方視的に分析する。

4. 結果

① 看護師介在モデル (D to P with N + Device)

(1) 実施日程および予約状況

期間中の受診状況および予約埋まり率は以下の通りであった。

期間中の受診状況および予約埋まり率

	18時台	19時台	20時台	日計 (受診/枠)	予約埋まり率
期間中の合計	20 / 29	21 / 29	11 / 29	52 / 87	59.8%
時間帯別埋まり率	69.0%	72.4%	37.9%		

(2) 受診内訳

- カルテを後方視的に集計したところ、のべ 52 名の受診があった。
- 期間中、3 回受診した方が 1 名いた。それ以外の方は 1 回受診であった。
- 受診時年齢は 0-13 歳で、平均は、5.6 歳であった。
- 主病名はインフルエンザ A 型が最多で 24、次に急性上気道炎 14、溶連菌感染症 3、急性胃腸炎 3 と続いた。
- 迅速検査は、インフルーコロナ同時検査を 12 名に実施し、A 群 B 溶連菌迅速試験を 4 名に実施した。
- 処方薬は 48 名に処方あり、4 名に処方なしであった。

(3) 保護者アンケート結果詳細 (受診直後)

- 受診終了時に看護師より保護者にアンケートの QR コードを提示し、回答を依頼してオンラインで結果を回収した。
- 期間中、のべ 52 名の受診があったが、同日きょうだい受診には利用後アンケートは 1 回しか依頼せず、依頼総数 46。回答総数 (N)は、45 件であり、回収率：97.8%であった。
- 回答の集計結果は下記の通り。

1. 回答者について教えてください。お子さんから見て、あなたはどなたですか？

- 母 37 82.2%
- 父 8 17.8%
- その他 0 0.0%

2. 本日はどの経路でこのクリニックを知りましたか？ (Top5)

- チラシを見た 14 31.1%
- 友人・知人からの紹介 6 13.3%
- SNS (X (旧 Twitter) , Facebook, Instagram 等) で見た 4 8.9%
- インターネット検索 4 8.9%
- 小児科オンラインからのメール 2 4.4%

3. 「日祝 (夜間) 深谷市の新しい小児科外来」は何度目の受診ですか？

- 初回 40 88.9%
- 2 回目 4 8.9%
- 3 回目 0 0.0%
- 4 回目 1 2.2%
- 5 回目以上 0 0.0%

4. お子さんの年齢を教えてください。

- | | | |
|-----------------------------|----|--------|
| ☐ 0歳 | 4 | 8.90% |
| ☐ 1歳 | 2 | 4.40% |
| ☐ 2歳 | 4 | 8.90% |
| ☐ 3歳 | 3 | 6.70% |
| ☐ 4歳 | 6 | 13.30% |
| ☐ 5歳 | 10 | 22.20% |
| ☐ 6歳 | 2 | 4.40% |
| ☐ 7歳 | 4 | 8.90% |
| ☐ 8歳 | 2 | 4.40% |
| ☐ 9歳 | 2 | 4.40% |
| ☐ 10歳以上 | 6 | 13.30% |

5. お子さんの性別を教えてください。

- | | | |
|-------------------------|----|-------|
| ☐ 男 | 24 | 53.3% |
| ☐ 女 | 21 | 46.7% |

6. 受診した理由をお聞かせください。（複数回答可）

- | | | |
|--|----|-------|
| ☐ かかりつけ医が休診日だったため | 36 | 80.0% |
| ☐ すぐに診てもらいたかったため | 31 | 68.9% |
| ☐ 薬がほしかったから（定期薬含む） | 13 | 28.9% |
| ☐ 深谷市での新しい試みを応援したかったから | 13 | 28.9% |
| ☐ 小児科を専門とする医師に相談したかったから | 11 | 24.4% |
| ☐ 平日に受診しにくい理由があるから（仕事など） | 7 | 15.6% |
| ☐ 医療費助成の対象で自己負担がないから | 7 | 15.6% |
| ☐ [自由記載] 早朝の発熱だったので、休日診療所の診察時間では検査してもらえない
と思、12時間空く夜の時間帯で予約もできるこちらにきました | 1 | 2.2% |
| ☐ かかりつけの先生に聞きづらいことがあったから | 0 | 0% |

7. 今回の相談内容をご選択ください。（複数回答可）

- | | | |
|--------------------------------------|----|-------|
| ☐ 発熱 | 36 | 80.0% |
| ☐ 鼻水、せき | 27 | 60.0% |
| ☐ 下痢、嘔吐 | 7 | 15.6% |
| ☐ 皮膚、肌荒れ | 5 | 11.1% |
| ☐ 皮膚のトラブル、うんちの状態 | 1 | 2.2% |
| ☐ 扁桃腺の腫れ | 1 | 2.2% |
| ☐ インフルエンザの疑い | 1 | 2.2% |
| ☐ 足指怪我 | 1 | 2.2% |

8. 今回の診察の満足度を教えてください。

- | | | |
|-----------------------------|----|-------|
| ☐ 非常に満足 | 37 | 82.2% |
| ☐ 満足 | 8 | 17.8% |
| ☐ 普通 | 0 | 0.0% |
| ☐ 不満 | 0 | 0.0% |
| ☐ 非常に不満 | 0 | 0.0% |

9. もし「日祝（夜間）深谷市の新しい小児科外来」がなければ、本日はどのように過ごされていたと思いますか？

- | | | |
|--|----|-------|
| ☐ 不安とともに自宅で様子を見ていた | 37 | 82.2% |
| ☐ 救急外来を受診していた | 4 | 8.9% |
| ☐ 特に不安はなく、自宅で様子を見ていた | 2 | 4.4% |

- 自宅でオンライン診療を受けていた。 1 2.2%
○ 休日診療を利用したか、平日のかかりつけを診察した。 1 2.2%

10. 本日の受診前に#8000(埼玉県小児救急電話相談)に電話で相談しましたか？

- 相談していない 43 95.6%
○ 相談した 2 4.4%

11. 今回の【「日祝（夜間）深谷市の新しい小児科外来」での診察】と、これまでに受けた【通常の病院やクリニックでの対面診察】を比較して、満足度に違いはありましたか？

- 今回の診察のほうがとても満足だった 16 35.6%
○ 今回の診察のほうやや満足だった 3 6.7%
○ どちらも同じくらい満足だった 23 51.1%
○ 過去の対面診察のほうやや満足だった 1 2.2%
○ 過去の対面診察のほうがとても満足だった 0 0.0%
○ 過去に対面診察を受けたことがない / 比較できない 2 4.4%

▼前問の回答について、その理由や具体的なお意見（全文）

- 同じ感じで診察やお話が聞けたので良かった
- オンラインでも丁寧な診察をしていただいたと感じた
- 待ち時間が少なく、丁寧に対応して頂いた。
- とてもスムーズな診察で、安心して任せられました。
- 完全予約制なので混雑もしておらず、着いてすぐに見ていただけるのもとてもよかった。通常の小児科に休み明けに行くと具合の悪い子を連れて待っているのは親としても大変なのでとても助かりました。
- ゆっくり丁寧に見てくれて安心した
- 看護師さんもとても感じが良く、普段は耳の中をみせるのも大変なのにすんなり診ていただくことができました。また、先生もとても丁寧に対応して下さり受診後も安心することができ有り難かったです。息子には障がいがあり、近くの小児科で診ていただくことに躊躇することも多いのですが、こちらにはまたお世話になりたいな...と思うことができました。ありがとうございました。
- とても親切でわかりやすく、的確な診断をしてくださいました。
- とっても親身になって話してくれた
- ビデオ通話でもしっかり診察してくれて、子供に優しい先生で安心できました。
- 看護師さんが、しっかり様子を見て先生に伝え、診察して頂けたので良かったです。
- オンライン診療でもしっかりみてもらえた印象でした。看護師さんも丁寧に対応してくださり感謝しています。
- 完全予約制で待ち時間なく案内してもらいました。看護師さんが色々と検査してくれて、対面の診察より丁寧かと思いました
- 時間予約なので待ち時間もあまりない。オンラインでもシステムがしっかりしており、実際に対面で診察してもらおうのと、かわりない感じでした。
- 親切にわかりやすく説明していただき、とてもありがたかったです。ありがとうございました。
- とても分かりやすく話してくれて良かったです。質問もしやすかったので、安心して受診できました。看護師さんもとても親切でした。
- 予約もとりにやすくとてもスムーズでした。待ち合いも安心して過ごせて対応していただいた皆様がとても丁寧でたすかりました。
- 先生がとても親身になって話を聞いてくださり助かりました。
- 予約時間に見てもらえた事スタッフ、医師の対応がすごく良かった
- 良かった
- オンラインでも、丁寧に対応してもらえて安心できた。

- とても親切に見てもらったが、機器の不具合が気になった
- 金曜の夜発熱で24時間後に検査できる今回の外来があつてとても助かりました
- 質問を丁寧に答えてくれた
- 休日急患は小児専門医とは限らないが今回は小児科医なので安心して見てもらえた。また予約の待ち時間もなく、他患者と接触が無いのも良い
- どちらも速度感良く対応してくださったため。
- 時間にも余裕もって丁寧に個別対応してもらえてありがたいです

12. 今回の【「日祝（夜間）深谷市の新しい小児科外来」での診察】と、これまでに受けた【スマホだけで完結する自宅から受けるオンライン診療】を比較して、満足度に違いはありましたか？

○ 今回の診察のほうがとても満足だった	13	28.9%
○ 今回の診察のほうがやや満足だった	0	0.0%
○ どちらも同じくらい満足だった	8	17.8%
○ 過去の自宅から受けるオンライン診療のほうがやや満足だった	0	0.0%
○ 過去の自宅から受けるオンライン診療のほうがとても満足だった	0	0.0%
○ 過去に自宅から受けるオンライン診療を受けたことがない / 比較できない	24	53.3%

▼前問の回答について、その理由や具体的なご意見（全文）

- オンライン診療は受けたことがない
- 安心感
- 看護師がいるのと、詳細な検査が可能な点
- 看護師さんが居てくれて、インフルの検査もできたので良かったです。
- 看護師さんと直接話しが出来て、その後先生ともしっかり話しをしながら診察出来て良かったです。
- 看護師の方が対応しながら診てもらえるほうが説明も納得出来る。
- 子供の様子もよく観察してくれて安心した
- 自宅でもオンライン診療はしていない
- 自宅で一人だと不安だから。
- 早くていい
- 待ち時間がなかった。
- 直接看護師さんにみていただけるのは安心でした。

13. 「日祝（夜間）深谷市の新しい小児科外来」に対する印象を教えてください。（複数回答可）

○ オンラインであっても、小児科医による診察だったので安心した	41	91.1%
○ 看護師の対応が丁寧だった	41	91.1%
○ 医師の対応が丁寧だった	40	88.9%
○ 予約制だったのでよかった	34	75.6%
○ 看護師が胸の音や喉の所見をとってくれたことがよかった	34	75.6%
○ 看護師がいたので利用のハードルが下がった	24	53.3%
○ 施設や環境が清潔で快適だった	23	51.1%
○ 看護師が抗原検査を実施してくれたことがよかった	19	42.2%
○ 改善してほしい点があった（※次の質問で詳しくお聞きします）	3	6.7%
○ 特に印象に残らなかった	0	0%

▼前問で「改善してほしい点があった」を選択した方への質問です。どのような点を改善すべきだったか、なるべく具体的にご記載ください。

- タブレットで情報を先生に送信する際に、通信速度が遅く全然送信が出来なかったためすごく時間が掛かってしまったのでそこだけ改善希望です。
- 看護師さん1人での対応だったので、もう1人いてもらえらるともっとスムーズにい

くのかなと思いました。

- 兄弟で受診しやすいようにしてほしい
- 子供の服やおむつを脱がすことがあるため、その場で寝かせられるスペースが欲しい。
- 充分です
- 予約のアプリが少し手間取った

14. 今回の「日祝（夜間）深谷市の新しい小児科外来」は 2 ヶ月限定の施行実施です。本取組は、施行実施終了後も深谷市において継続すべきと思いますか？

○ そう思う	43	95.6%
○ どちらかといえばそう思う	2	4.4%
○ どちらともいえない	0	0.0%
○ どちらかといえばそう思わない	0	0.0%
○ そう思わない	0	0.0%

今回の施行実施に対してご意見・ご要望（全文）

- この事業ができてとても良かったです。看護師さん方もとても親切でしたし、子どもも安心して受けられました。休日で大変かもしれませんが、予約もできますし、看護師さんもうらっしゃるのでとても安心です。ぜひ、続けていただきたいです。ありがとうございます。
- ぜひ、継続して続けて欲しいです。
- たまたまこの期間で本当に良かったと実感しています。是非続けていただきたいです！
- ちょうどタイミングよく利用できて大変ありがたいです ぜひ継続して欲しいです冬だけでも
- とても需要のあるものと思います。継続していただけるとありがたいです
- とても優しく対応してくださり本当に助かりました
- とても良い取り組みだと思うので実施していただけたらと思います。
- もっと機器の正確性が気になる
- 今回の受診も適切に診ていただきありがとうございました。
- 今日明日は休日、祝日だったため、今回診察してもらえなかったら、不安は解消されてなかったと思います。妻もとても安心できて、本取り組みにとっても満足しています。是非、継続していただきたいです。
- 祝日で発熱してしまい、どうしようと不安な気持ちがありました。インフルエンザの検査時間も過ぎないか、薬が効くのか心配でしたが、先生や看護師さんのおかげで1日も早く子どもに対応できて良かったです。
- 助かりました。是非継続してほしい
- 小児科がお休みで、不安な時間を過ごす事なく診察してもらえた事はとても良かったです。
- 親としてはありがたい制度なので継続をお願いします。
- 先生も看護師さんも、とても丁寧に対応して頂きました。ありがとうございます。
- 早く本取組してほしい
- 丁寧に診察してもらえて良かったです。安心できました。
- 土曜日追加で診察してくれると非常にありがたいです。ビデオ通話でのお話でしたが、目の前にいるかのように安心して受診できました。ありがとうございました！
- 働いていると、病院に行きずらかったり、予約が取れなくて行けなかったりするので、夜間の時間帯にも空いていて、また予約制なので混むことなく診てもらえて良かったです！

- 日曜日に診察してもらえるのはとても助かります ぜひ継続して欲しいです
- 病院の先生や看護師さん市役所の方達には感謝しかないです。オンライ診察でも薬をもらいに出なきゃいけないので、市役所で診察していただけるのであればすごく助かります。兄弟が居るとどうしても連れていかないと行けない時もあるので、検査の際親が抑えてないといけないので、マットレスみたいな所があって下の子がちょっと待てるようなスペースがあるといいなと思いました。絵本でもいいですし、ちょっとした塗り絵やおもちゃがあると少しでも待ち時間をすごせるのかなと思いました。子供はいつ熱が出るか分からないので、日曜日や祝日にやってくれる事は本当にありがたいです。
- 本当にありがたく助かりました
- 夜間はやってないところが多いので、やってくれるとありがたい

(4) 保護者向け数日後アンケート結果（経過調査）

- 受診から数日後の経過を確認するため、以下の条件で抽出した対象者へ予約アプリより保護者へウェブフォームを送付し、アンケートを実施した。
 - アンケート対象者の抽出定義
 - ◇ 本調査の対象者は、受診者総数のうち以下の条件を満たす 44 名とした。
 - ◇ 同日きょうだい受診の場合：受診した人数分（それぞれの経過を確認するため）を対象とする。
 - ◇ 期間中に複数回受診した場合：経過を正確に追うため、最終受診時の内容についてのみ回答を依頼。
 - ◇ 配信条件：受付システムに登録されたメールアドレス宛に正常に配信できたケースに限る。
- 回収結果
 - アンケート対象者数：44 名、回答数：26 件、回収率：59.1%
 - 回答までの日数：受診から 5 日～31 日後（平均 19 日）
- 回答の集計結果は下記の通り。

Q1. 当外来受診時の症状や体調の変化は、その後いかがでしたか？

（最も当てはまるものを 1 つお選びください）

○ 順調に良くなった・治った	24	92.3%
○ 少し良くなった	1	3.8%
○ あまり変わらない	1	3.8%
○ 悪化した	0	0.0%

Q2. 当外来受診から本日までの間に、今回の症状に関して以下の対応をとられましたか？

（あてはまるものを全て選択）

○ いずれも行っていない（自宅で様子をみた）	20	76.9%
○ 日中にかかりつけ医を受診した	6	23.1%
○ 救急外来を受診した	0	0.0%

（任意）受診・入院された方へ

差し支えなければ、その際に診断された病名、または医師から言われた症状をご記入ください。（例：インフルエンザ、喘息発作、ただの風邪と言われた、など）

- インフルエンザ
- 溶連菌の抗菌薬を必要量処方してもらいました 念の為 1 ヶ月後尿検査もするようにと言われてます
- 風邪だろうと言われました。
- 風邪
- インフルエンザ A 型
- インフルエンザ

(任意) その他、受診後の経過や当クリニックへのご意見・ご要望などございましたら、ご自由にご記入ください

- 1日分だけでなく、せめて3日分出せてもらえたら良かった。しかしながら、1日分でも薬を出せてもらえたので診察してもらえて安心できた。
- スムーズに診察していただき非常に助かりました。
- とても助かりました。先生も優しくわかりやすい説明でとても良かったです。本当にありがとうございました。
- 今後も継続してほしいです。予約制でとても良かったです。
- 受診後かかりつけの病院で薬をいただき回復しました。息子には障害があり、自分の症状を伝えられないので夜間に検査をしていただいたことで、安心して様子をみながら過ごすことができました。とてもありがたかったです。
- 詳しく説明していただき、検査も受けられたため安心してその後様子を見ることができました。ありがとうございました。
- 先生がとても優しく、わかりやすい説明をしてくださいました。ありがとうございました。
- 先生に言われ、熱が下がらなかった為、昼間病院を受診し、インフルエンザの診断を受けました。夜間にもかかわらず、丁寧に診察して頂けて良かったです。薬も先生から処方されたので、安心して内服出来ました。このまま、病院がお休みの年末、年始も診察し、そのまま、継続して、土曜日の夜間も増やして欲しいです。
- 担当していただいた看護師、お医者さんはとても気さくな方で安心して受診できました。
- 丁寧に診察していただき助かりました。
- 日曜の夜だと夫が兄弟をみてくれるので病気で辛い子だけを連れて受診できてスムーズだし安心でした。また1日でも早く感染症の診断が出ると欠勤する日数も減るのでとても助かります。看護師さんもオンラインでの先生とのやりとりも丁寧に安心して受診できました。ぜひ続けて欲しいです。
- 保育園で発熱、インフルエンザが出ており、日中は平熱、夜は高熱を3日間繰り返していました。休日診療ですと時間がかかり、感染症をもらう可能性もあると思ったので、個別予約、看護師さんもいらっしゃって検査もできるとなっていたので診察していただきました。喉、胸、耳の異常はなく、解熱剤も飲んでいなく熱が下がる、また家族で体調不良が出ていないということなので、インフルエンザではないと診断されました。保育園に通っていますし、私自身も保育園勤務なので検査をとお話ししたのですが、絶対ない、もしならば違うということをお手紙書くと言ってくださいました。安心とモヤモヤ感がありながら帰宅すると再度高熱。翌日かかりつけにいき、検査をしていただくとインフルエンザでした。そして、私も数日後感染しました。小児科の先生は経験も実績もありますでしょうし、信用します。ですが、検査をして違うという確信も欲しいということも保護者の中にはあります。受付から処方まで約2時間かかりました。あの時に検査していただいて薬が処方されればもう少し早く回復したのではないかなと感じてしまいます。医療従事者のかたは大変だと思いますが、とてもいい事業ですし、続けてほしいとも思います。看護師さんの方たちも薬局の方もとてもいい方だったので、残念でした。
- 夜間はやってないところが多いので、やってくれるとありがたい
- 予約もとりにやすくスムーズに診ていただけて本当に助かりました。すぐに受け取れる薬局もめ丁寧に紹介下さりありがたかったです。普通のオンライン診療と違い看護師さんが診察をして先生に共有していただけたのも安心でした。通常の休日夜間の小児外来に合わせてこちらも是非継続していただきたいです。状況が見えにくいのでなかなか難しいかもしれませんが、自宅からのオンラインも選択できたらいいなと思いました。
- 発熱後 24 時間となると日曜日だったので夜間診療があつて助かりましたインフル

エンザの検査もして貰えたので診断が出たおかげで、その後発熱した姉も母もオンライン受診でインフルエンザの薬を処方してもらえて大変助かりました看護師さんオンラインでのお医者さんともにスムーズで市役所利用というのも便利で良かったです ありがとうございます

(5) 実際の様子



左上：看護師によるバイタル測定
右上：看護師による呼吸音の取得
左下：看護師による鼓膜の状態の画像取得
右下：遠隔の小児科医によるオンライン診療

② 多職種連携モデル

(1) 実施内容

- 対象は当該年度中に5歳を迎える児とし、該当者31名のうち28名が受診し、実施率は90.32%であった。実施方法として、小児科医の診察形態を変えて計3回実施した。1回目は対面での小児科医健診、2回目は別室でのオンライン小児科医健診、3回目はオンライン小児科医健診とし、小児科医以外のプロセスは3回とも同様とした。
- 健診の具体的な実施手順は以下のとおりである。
事前準備として、保護者および保育者による事前Webアンケートを実施した。また、対象児童の発育曲線およびこれまでの健診や医療内容をWeb上で共有し、多面的な情報収集に基づくデータ統合を行った。これらの統合データは、事前に担当小児科医によって確認された。健診当日は、小児科医師、心理士、理学療法士、保育士、保健師、事務局管理者、教育委員会事務局の各関係職種が参加した。所要時間は2から3時間であり、受付後、保健師および保育士による問診、小児科医による診察、心理士・理学療法士・保健師による相談の順で実施した。受診者の帰庁後には、関係職種による多職種連携会議を開催した。事後対応として、多職種連携会議で検討した結果を、保育園を通じて保護者へ書面で通知した。通知においては、発達の個人差に配慮しつつそれぞれのペースで成長が見られる旨を記載し、関係者からのコメントとして、今後の継続的な見守りや、必要に応じた発音等の言葉の相談窓口の利用案内などを添えた。
- 第1回を実施した際、健診当日の担当者間のシームレスな情報共有に課題が見つかったため、第2回と第3回はOneDriveを用いてリアルタイムな情報連携を実施した。

- 全3回の実施内容、結果は下記の通り。

実施内容

	第1回	第2回	第3回
実施日	2025/11/18	2026/1/20	2026/2/20
健診実施数（保護者）	12	9	7
健診中に心理士相談に繋いだ数	10	4	4
健診中に PT 相談に繋いだ数	1	2	1
健診後に保健師フォローに繋いだ数	2	1	1
健診後に専門家（園訪問,ST,医療機関など）に繋いだ数	2	1	1
アンケート依頼数（保護者）	12	8	4
回答数（保護者）	9	5	4
アンケート回収率（保護者）	75%	63%	100%
小児科医の参加方法	対面	現地待機の上のオンライン	オンライン
OneDrive による共有	なし	あり	あり

(2) 保護者向けアンケートの結果

- 健診終了後、保護者のメールアドレス宛にウェブアンケートを送付し、回収した結果は下記の通り。

保護者向けアンケートの結果

設問	選択肢	第1回		第2回		第3回	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
健診を受診したお子さんの性別を教えてください。	男	5	56%	1	20%	3	75%
	女	4	44%	4	80%	1	25%
	答えたくない/その他	0	0%	0	0%	0	0%
【健診全体について】今回の5歳児健診全体について、どの程度満足されましたか？	大変満足	2	22%	1	20%	1	25%
	満足	5	56%	2	40%	3	75%
	ふつう	2	22%	2	40%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	大変不満	0	0%	0	0%	0	0%
【健診全体について】今回の健診は、お子さんの普段の様子や成長・発達の状況を、しっかりと確認した上で実施されたと感じましたか？	強くそう思う	2	22%	0	0%	2	50%
	そう思う	5	56%	5	100%	2	50%
	どちらともいえない	1	11%	0	0%	0	0%
	あまりそう思わない	1	11%	0	0%	0	0%
	全くそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
【健診全体について】健診にて、お子様の発達	十分に相談できた	2	22%	2	40%	4	100%
	ある程度は相談できた	6	67%	2	40%	0	0%

、子育て、日頃の悩みなど、十分に相談できましたか？	どちらともいえない	0	0%	0	0%	0	0%
	あまり相談できなかった	1	11%	0	0%	0	0%
	全く相談できなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	相談したいことがなかった	0	0%	1	20%	0	0%
【健診全体について】今回の健診の内容は、今後のお子さんの成長や育児に役立ちそうですか？	とても役立ちそうだ	2	22%	1	20%	4	100%
	ある程度役立ちそうだ	7	78%	3	60%	0	0%
	どちらともいえない	0	0%	1	20%	0	0%
	あまり役立たなそう	0	0%	0	0%	0	0%
	全く役立たなそう	0	0%	0	0%	0	0%
【健診全体について】健診の「待ち時間」について、どのように感じましたか？	非常にスムーズだった	1	11%	0	0%	2	50%
	スムーズだった	4	44%	2	40%	2	50%
	少し待たされたと感じた	4	44%	2	40%	0	0%
	長く待たされたと感じた	0	0%	1	20%	0	0%
【健診全体について】健診が終わるまでの時間について、どのように感じましたか？	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	やや短かった	0	0%	0	0%	0	0%
	ちょうどよかった	6	67%	0	0%	3	75%
	やや長かった	2	22%	4	80%	1	25%
	長すぎた	1	11%	1	20%	0	0%
【健診全体について】今回の5歳児健診についてあてはまるものを【全て】選択してください。	スタッフ（医師、保健師、心理士、事務など）の対応が丁寧だった	8	89%	4	80%	4	100%
	保護者からの質問や相談がしやすかった	5	56%	3	60%	1	25%
	健診の内容が充実していた	2	22%	1	20%	0	0%
	健診の案内（事前のお知らせ）が分かりやすかった	2	22%	1	20%	2	50%
	健診の結果説明やアドバイスを分かりやすかった	3	33%	2	40%	1	25%
	健診会場の設備や環境が良かった（清潔さ、広さ、動線など）	3	33%	0	0%	1	25%
	子どもが安心して健診を受けられるような配慮があった	4	44%	2	40%	2	50%
	あてはまるものはない	0	0%	0	0%	0	0%
【小児科医について】小児科医への相談時間の長さはどのよう	長すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	やや長かった	0	0%	0	0%	0	0%
	ちょうどよかった	9	100%	5	100%	4	100%

に感じましたか？	やや短かった	0	0%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
【小児科医について】小児科医との「相談」について、満足しましたか？	大変満足	3	33%	0	0%	2	50%
	満足	4	44%	5	100%	2	50%
	ふつう	2	22%	0	0%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	不満	0	0%	0	0%	0	0%
	理学療法士とは相談していない	5	56%	2	40%	3	75%
【理学療法士について】理学療法士への相談時間の長さはどのように感じましたか？	長すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	やや長かった	0	0%	0	0%	0	0%
	ちょうどよかった	4	44%	3	60%	1	25%
	やや短かった	0	0%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	理学療法士とは相談していない	5	56%	2	40%	3	75%
【理学療法士について】理学療法士との「相談」について、満足しましたか？	大変満足	1	11%	0	0%	0	0%
	満足	2	22%	2	40%	1	25%
	ふつう	1	11%	1	20%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	不満	0	0%	0	0%	0	0%
	理学療法士とは相談していない	5	56%	2	40%	3	75%
【心理士について】心理士への相談時間の長さはどのように感じましたか？	長すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	やや長かった	0	0%	0	0%	0	0%
	ちょうどよかった	5	56%	3	60%	1	25%
	やや短かった	1	11%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	心理士とは相談していない	3	33%	2	40%	3	75%
【心理士について】心理士との「相談」について、満足しましたか？	大変満足	2	22%	0	0%	0	0%
	満足	2	22%	3	60%	1	25%
	ふつう	2	22%	0	0%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	不満	0	0%	0	0%	0	0%
	心理士とは相談していない	3	33%	2	40%	3	75%
【保健師について】保健師への相談時間の長さはどのように感じましたか？	長すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	やや長かった	0	0%	0	0%	0	0%
	ちょうどよかった	9	100%	5	100%	4	100%
	やや短かった	0	0%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%

【保健師について】保健師との「相談」について、満足しましたか？	大変満足	1	11%	0	0%	1	25%
	満足	3	33%	4	80%	3	75%
	ふつう	5	56%	1	20%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	不満	0	0%	0	0%	0	0%

(任意) その他、今回の 5 歳児健診について、お気づきの点や、今後期待すること、改善してほしい点などがございましたら、ご自由にご記入ください。

<第1回>

- 集団の中ではおおむね問題のない発達かもしれないが、個について深掘りしていくと少なからず何かしら気になる点はあると思っているので、親では判断しにくい個の持ついわば弱点のようなものを一緒に見つけてそれゆえの困り感や直面した場合の対応策等を教えてもらえる機会があるとありがたいと思いました。現時点での家庭としての困り感は特にないが、過去の話も聞いていただき、小児科医としてのそれについての判断(そういった事例は他にもあり一時的なものである)というも聞けたのはありがたかった。ユーモアのある面白い Dr.で、初対面だが安心して話をすることができました。ありがとうございました。
- 待ち時間(特に最初の待ち時間) 1▶2▶3▶4▶5 のように、順番で進んでいくよりも、1▶2▶3▶4▶5 2▶3▶4▶5▶1 、 、 5▶1▶2▶3▶4 のように、ぐるぐる回るようにするとか。 検診の内容的に順番でないといけない理由もあるのかもしれないですが、
- 健診の後、保育園に行く事を考えると、最後の方は給食の時間に間に合わないこともあるかもしれません。そういう親御さんにとっては最後の方の相談が急ぎ足になってしまいます。早く受付すればいい話なのですが、10時から受付とあったからその時間に行ったのに、早く行った人からすでに受診が始まっていた。それなら 10時から対象の方は15分前から受付します。とか案内でしるしておいてほしい。

<第3回>

- 5 歳児検診を行うことで就学児検診だけでは分からないことが分かりとても良いと感じました。

(3)関係者向けアンケートの結果

- 健診後、健診を担当した関係各者のメールアドレス宛にウェブアンケートを送付した。回収率および回収した結果は下記の通り。

回収率

	第1回	第2回	第3回
実施日	2025/11/18	2026/1/20	2026/2/20
対象者数(関係者)	8	9	11
回答数(関係者)	8	9	9
アンケート回収率(関係者)	100%	100%	82%

関係者向けアンケートの結果

設問	選択肢	件数	割合	件数	割合	件数	割合
職種をお教えてください	小児科医	1	13%	1	11%	1	11%
	保健師	3	38%	4	44%	3	33%

	理学療法士	1	13%	1	11%	1	11%
	心理士	1	13%	1	11%	2	22%
	保育士	1	13%	1	11%	2	22%
	事務・運営スタッフ	1	13%	1	11%	0	0%
	その他	0	0%	0	0%	0	0%
【健診＋多職種連携会議について】今回の取り組み全体を通しての満足度（運営側としての達成感）を教えてください。	大変満足	0	0%	1	11%	4	44%
	満足	6	75%	7	78%	5	56%
	ふつう	2	25%	1	11%	0	0%
	やや不満	0	0%	0	0%	0	0%
	不満	0	0%	0	0%	0	0%
【健診について】今回の健診の体制は、お子さんの普段の様子や成長・発達の状況を、しっかりと確認した上で実施できるものだったと感じましたか？	強くそう思う	1	13%	1	11%	3	33%
	そう思う	5	63%	8	89%	6	67%
	どちらともいえない	2	25%	0	0%	0	0%
	あまりそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
	全くそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
【健診について】今回の健診の体制は、お子様の発達、子育て、日頃の悩みなど、保護者からの相談を十分に受けることができるものだったと思いますか？	十分に受けることができた	1	13%	1	11%	3	33%
	ある程度受けることができた	6	75%	5	56%	6	67%
	どちらともいえない	0	0%	1	11%	0	0%
	あまり受けることができなかった	1	13%	0	0%	0	0%
	全く受けることができなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	担当外のため回答しない	0	0%	2	22%	0	0%
【健診について】今回の健診の内容で、今後のお子さんの成長や育児に役立つ適切な情報提供やフィードバックができていたと感じますか？	強くそう思う	0	0%	1	11%	2	22%
	そう思う	6	75%	7	78%	7	78%
	どちらともいえない	2	25%	1	11%	0	0%
	あまりそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
	全くそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
【健診について】健診の「参加者（保護者と子どもたち）の待ち時間」について、どのように感じましたか？	非常にスムーズだった	0	0%	0	0%	1	11%
	スムーズだった	1	13%	3	33%	8	89%
	少し待たせていると感じた	3	38%	6	67%	0	0%
	長く待たせていると感じた	4	50%	0	0%	0	0%
【健診について】健診が終わるまでの時間について	長すぎた	2	25%	0	0%	0	0%
	やや長かった	5	63%	4	44%	1	11%

て、どのように感じましたか？	ちょうどよかった	1	13%	5	56%	8	89%
	やや短かった	0	0%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
【健診について】健診中、他職種との連携（情報の引き継ぎや共有）はスムーズでしたか？	非常にスムーズだった	0	0%	0	0%	1	11%
	スムーズだった	1	13%	6	67%	3	33%
	普通	1	13%	1	11%	5	56%
	やや難しかった	3	38%	2	22%	0	0%
	難しかった	3	38%	0	0%	0	0%
【小児科医以外の方へ】健診中、小児科医への情報共有や連携はスムーズに行えましたか？	非常にスムーズだった	0	0%	1	11%	0	0%
	スムーズだった	0	0%	5	56%	2	22%
	普通	1	13%	1	11%	6	67%
	やや難しかった	4	50%	1	11%	0	0%
	難しかった	2	25%	0	0%	0	0%
	小児科医のため、回答しない	1	13%	1	11%	1	11%
【多職種連携会議について】多職種で情報を持ち寄ることで、一人（一職種）で判断するよりも、対象児への理解が深まりましたか？	非常に深まった	3	38%	5	56%	4	44%
	深まった	4	50%	3	33%	5	56%
	どちらともいえない	0	0%	1	11%	0	0%
	あまり深まらなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	全く深まらなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	多職種連携会議に参加していないため回答しない	1	13%	0	0%	0	0%
【多職種連携会議について】会議を通して、今後の支援方針や保護者へのアドバイス内容が明確になりましたか？	非常に明確になった	1	13%	4	44%	2	22%
	明確になった	5	63%	4	44%	7	78%
	どちらともいえない	1	13%	1	11%	0	0%
	あまり明確にならなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	全く明確にならなかった	0	0%	0	0%	0	0%
	多職種連携会議に参加していないため回答しない	1	13%	0	0%	0	0%
【多職種連携会議について】会議の実施時間は適切でしたか？	長すぎた	5	63%	0	0%	0	0%
	やや長かった	1	13%	3	33%	1	11%
	適切だった	1	13%	6	67%	8	89%
	やや短かった	1	13%	0	0%	0	0%
	短すぎた	0	0%	0	0%	0	0%
	多職種連携会議に	0	0%	0	0%	0	0%

	参加していないため回答しない						
【小児科医以外の方へ】 会議中、小児科医への情報共有や連携はスムーズに行えましたか？	非常にスムーズだった	1	13%	4	44%	2	22%
	スムーズだった	2	25%	2	22%	4	44%
	普通	2	25%	2	22%	1	11%
	やや難しかった	1	13%	0	0%	1	11%
	難しかった	0	0%	0	0%	0	0%
	小児科医のため回答しない	1	13%	1	11%	1	11%
	多職種連携会議に参加していないため回答しない	1	13%	0	0%	0	0%
【小児科医以外の方へ】 会議に小児科医が参加することに意義があると感じましたか？	強くそう思う	4	50%	6	67%	6	67%
	そう思う	4	50%	2	22%	2	22%
	どちらともいえない	0	0%	0	0%	0	0%
	あまりそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
	全くそう思わない	0	0%	0	0%	0	0%
	小児科医のため回答しない	0	0%	1	11%	1	11%
	多職種連携会議に参加していないため回答しない	0	0%	0	0%	0	0%

(自由記述) 今回の健診で、特に良かった点・印象に残ったこと、また、運営準備・当日の動き・チーム連携などにおいて、改善すべき点や次回取り入れたい工夫があれば教えてください。

<第1回>

- 保育園の協力があり、保護者の事前アンケートの提出や健診受診への意識につながったと思います。健診の持ち場に入ってしまうと、他の職種の動きや待ち状況に気を向けることができませんでした。スタート前に少しの時間でもスタッフ全員で流れや時間の目安の確認ができるとよいでしょうか。今回は、多職種連携会議に出席できなかったですが、診察医のカンファ参加は貴重であり今後も引き続きお願いしたいです。※スマホで回答を試みたのですが、送信できたかわからなかったもので、パソコンからも回答してしまいました。ダブっていたらこちらを残してください。
- 待ち時間も含めて子どもたちの観察時間を長く取れると理学療法士や心理士は状況を把握しやすい。観察時間を見守るための保育士の配置が必要になるが検討いただけるとありがたい。
- 良かった点・印象に残ったこと → 過去の健診での相談歴がない方も相談に入ってくれた → 他職種の視点、見解を知れた 改善すべき点・次回取り入れたい工夫 → 対象児について事前情報の確認 → 観察場面をもう少し増やせないか(待ち時間を有効活用できないか) → 相談時間の配分・確保 → 相談場面の環境設定
- 前の問診から、時間差で流れてくる為 子どもを待たせることなく1人ずつ検査することができた。塗り絵をして待っているのは、子どもが落ち着いて座って待てるので良かった。
- 多職種連携の際に、意見の相違が出る前提なので、断定的にお伝えすることはよくな

いと思いました。

<第2回>

- 一人の子どもについて大人10名以上で考える場合は素晴らしいと思いました。
- 心理士、理学療法士は集団の場で観察しながら相談ができると良いと思いました。
- 他職種会議のあり方 忙しい保育士さんへの待ち時間を減らす工夫がしたいです
- 連携がよくとれて、流れもスムーズで大変良かったとおもいます。各、専門の先生たちからも子どもの様子や貴重なお話を聞くこともできて、今後の保育の現場で役に立つことが多く 大変、参考になりました。
- PCで情報共有できたことで遠隔でも多職種が一体になれると感じた。事前情報は紙面でいただければ良かった。

<第3回>

- コメディカルとして医師の判断を仰いだ上でお子さんや親御さんと関わるができますのはとても安心できます。
- 次回は12~13人/回のため、とても時間がかかると思います。スムーズに行うための時間配分をまた考えていけたらと思います。今年度は大変お世話になりました。またよろしくお願い致します。
- 3歳児健診から就学時健診まで期間があいてしまう為、5歳児健診を取り入れる事で支援が必要だったり、療育へと繋がる事ができたりするので、非常に良いと思います。

(4) 実際の様子



左上：保育士による行動観察

左下：保健師による問診

右上：小児科医によるオンラインでの5歳児健診

右下：多職種連携会議（小児科医はオンラインで参加）

5. 考察

本研究では、小児科領域における「対面接点連携型オンライン診療」として、看護師介在モデルと多職種連携モデルの2つを実際の地域フィールドで実施した。その結果、オンライン診療における課題である診療情報の不足を、現地にいる専門職が補完することで、小児医療アクセスの改善、保護者の安心感の向上、そして一定の診療・健診の質の担保につ

ながる可能性が示された。特に、小児科医が不足する地域や、休日・夜間の健診体制の確保が困難な地域において、本モデルは既存の医療・保健体制を補完する選択肢となりうると考えられる。

看護師介在モデルは、休日・夜間帯の潜在的な医療ニーズに対する適切な受け皿として機能した。受診者の多くが「かかりつけ医の休診」や「すぐ診てほしい」ことを理由に挙げており、当外来がなければ「不安とともに自宅で様子を見ていた」保護者が多数を占めた。救急外来を受診するほどではないが、保護者のみの判断では不安が大きい小児軽症患者に対して、予約制で小児科医に相談できる場を提供した意義が確認された。また、現地に看護師が介在し、胸の音、咽頭所見、迅速検査等の客観的情報を直接取得できたことが利用者の満足度に繋がっていた。従来のスマートフォン越しでの情報のみに依存するオンライン診療とは異なり、看護師が医学的情報を補完することで、「通常の対面診療と同等かそれ以上に満足」という高い評価に繋がったと考えられる。安全性については、経過調査において症状の悪化や救急外来の受診例が確認されなかったことから、対象患者に対して一定の安全性をもって実施できたと考えられる。また、通信環境の遅延、看護師1名体制での業務負担、設備面（乳幼児を寝かせるスペース等）といった運用上の課題も明らかになったが、これらは施設設計や人員配置、業務フローの最適化によって改善可能な範囲であると考えられる。

多職種連携モデルの5歳児健診への導入においては、就学時健診だけでは見逃されがちな発達特性や生活上の困りごとの把握、そして必要な支援（心理士・理学療法士への相談、専門機関への接続等）への連携を実践することができた。現地の保健・保育職が日常的に把握している情報と、オンラインで参加する小児科医の専門的判断を組み合わせることで、小児科医不足地域でも充実した健診体制を構築できる可能性が示された。保護者アンケートでは、対面、オンラインに関わらず小児科医への相談への満足度は高く、事前情報や多職種からの情報共有が機能していれば、オンラインでの関与でも保護者に十分に受け入れられることが確認できた。また、本モデルは回を重ねるごとに情報共有方法や動線が改善され、満足度や連携のスムーズさが向上した。クラウド（OneDrive等）の活用により、遠隔地からでも多職種が一体となって支援方針を検討できるようになった点は成果であった。今後の課題としては、事前情報の標準化とよりスムーズな共有システムの構築、健診当日の待ち時間の有効活用、健診後フォローの標準化などが挙げられる。

両モデルの検証から、現地で情報を取得し、患者・保護者を支援し、必要に応じて医師へ橋渡しをする専門職（看護師、保健師、保育士、心理士等）の存在は、「医師と患者を単純にオンラインでつなぐ」だけでは実現できない、オンライン診療の質の向上に寄与することが示唆された。対面接点連携型オンライン診療は、「オンラインか対面か」という二項対立ではなく、遠隔の医師の専門性と現地専門職の観察・支援を組み合わせ、相互の限界を補完し合う仕組みであるといえる。

本研究にはいくつかの限界が存在する。第一に、実証が限られた地域、期間、比較的小数の対象者で行われたため、他地域や通年運用への一般化には慎重を期す必要がある。第二に、保護者アンケートを中心とした主観的評価が主であり、対面診療との診断精度の比較、費用対効果、医療従事者の業務時間、救急受診抑制効果などの定量的評価が十分ではない。第三に、看護師介在モデルでは、新しい取り組みに関心を持つ層が利用したことによる選択バイアスの影響が考慮される。第四に、診療後経過アンケートの回収率が一定にとどまり、未回答者の詳細な経過が把握できていない。今後は、対象地域と実施期間を拡大し、通年での利用状況、季節変動、疾患別の適応、運用コストなどを詳細に検証する必要がある。併せて、各職種の役割分担や各種基準の標準化を進め、どの自治体や医療機関でも再現可能な運用モデルとしてパッケージ化することが求められる。

6. 結論

本研究を通じて、看護師や多職種が現地で介在する「対面接点連携型オンライン診療」は、小児医療における診療情報の不足というオンライン特有の課題を克服し得る手法であることが実証された。本モデルは、休日夜間の小児軽症患者に対する安全なアクセス確保や保

護者の不安軽減、さらには小児科医不足地域における質の保たれた 5 歳児健診体制の維持に貢献しうることが示された。